

平成30年度 Extra 5 応用動物科学セミナー

Translational and Regulatory Sciences Symposium

近藤 裕郷（医薬基盤研 研究所長）

『医薬品開発の動向から見てくるTRSの重要性』

堀 正敏（東京大学）『キャタリストユニットの役割』

樽林 陽一（神戸大学、東京大学）

『Translational Science - Current Status and Future Perspective toward 2025』

佐々木 えりか（実験動物中央研究所）

『Nonhuman Primate models for Translational Science』

小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所）

『ヒト健康影響を予測するための非動物実験の開発動向』

桃沢 幸秀（理化学研究所）

『Translational science from veterinary medicine to human medicine』

原田 秀幸（大日本住友製薬）

『Translational Science と Regulatory Science 融合への期待』

矢守 隆夫（PMDA）『PMDAにおける承認審査とレギュラトリーサイエンス』

岩尾 岳洋（名古屋市立大学）

『創薬研究での利用を目指したヒトiPS細胞由来小腸細胞の作製』

宇山 佳明（PMDA）『医薬品規制におけるレギュラトリーサイエンス』

● 2月7日（木）13：30～17：30 弥生講堂

- 本講演は、AMED受託事業の一環として行われるものですが、担当教員の厚意により本専攻の学生にも公開するものです。「動物科学のフロンティア」の講義としてはカウントしませんので、レポートの提出は必要ありません。

● 問い合わせ先： 獣医学専攻実験動物学教室 角田 茂 准教授

☎ 03-5841-5037

✉ akakuta@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp